

項目	内容
名称	セイヨウサンザシ、ホーソンベリー [英]English hawthorn [学名]Crataegus laevigata DC.、Crataegus monogyna Jacq.
概要	サンザシと呼ばれるものには、セイヨウサンザシ、オオミサンザシ（チャイニーズホーソン、Crataegus pinnatifida Bge）、サンザシ（Crataegus cuneate Sieb. Et Zucc.）がある。セイヨウサンザシは、特にヨーロッパにおいて心臓によいハーブとして使用されてきた。健康食品として販売されているサンザシは、セイヨウサンザシかオオミサンザシが主である。
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セイヨウサンザシ <p>(Crataegusoxycantha/Crataeguslaevigata/Crataegusmonogyna) 葉、果実：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質（原材料）」に該当する。</p>
成分の特性・品質	
主な成分・性質	<ul style="list-style-type: none"> ・フラボノイド配糖体[ルチン (rutin)、ビテキシン (vitexin)、ヒペロサイド (hyperoside)]、5環性トリテルペン類、サポニン、オリゴメリックプロシアニジン (oligomeric procyanidin=OPC)、トリメチルアミン、縮合タンニン、ビタミン B1、B2、Cなどを含む。 ・有刺の灌木。大きいもので高さ10 mになる。果実は球形または楕円形で深赤色。ヨーロッパの北西部および中部、イングランドからラトビア、ピレネー山脈の西側

およびイタリア北部の森で見られる。北アメリカ東部およびインドで帰化。薬用部分は果実、葉、花。中国では乾燥した果実を、ヨーロッパでは花冠、葉、果実を利用する。花期は5月で白い花をつける。

分析法

-

有効性

循環器・
呼吸器

メタ分析

・2002年6月までを対象に6つのデータベースで検索できた二重盲検無作為化プラセボ対照試験8報について検討したメタ分析において、慢性心不全患者による通常の治療とセイヨウサンザシ摂取の併用は、最大作業負荷量の増加と関連が認められた ([PMID:12798455](#))。

RCT

・慢性心疾患患者120名 (試験群60名、平均57.8±9.0歳、アメリカ) を対象とした二重盲検無作為化プラセボ対照試験において、通常の治療とともにセイヨウサンザシ抽出物を1日に450 mg×2回、6ヶ月間摂取させたところ、血圧、心拍、6分間歩行距離、QOLに影響は認められなかった ([PMID:19789403](#))。

ヒ
ト
で
の
評
価

消化系・肝臓

調べた文献の中に見当たらない。

糖尿病・
内分泌

調べた文献の中に見当たらない。

生殖・泌尿器

調べた文献の中に見当たらない。

脳・神経・
感覚器

調べた文献の中に見当たらない。

免疫・がん・
炎症

調べた文献の中に見当たらない。

骨・筋肉

調べた文献の中に見当たらない。

発育・成長

調べた文献の中に見当たらない。

肥満

調べた文献の中に見当たらない。

その他

調べた文献の中に見当たらない。

参考文献

- (22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第1版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳
(23) 天然食品・薬品・香粧品の事典 朝倉書店 小林彰夫ら 監訳
(30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添2、別添3、一部改正について)
(58) The Complete German Commission E Monographs
(91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS).
[\(PMID:12798455\) Am J Med. 2003 Jun 1;114\(8\):665-74.](#)
[\(PMID:19789403\) Eur J Heart Fail. 2009 Oct;11\(10\):990-9.](#)
[\(PMID:15277062\) J Herb Pharmacother. 2003;3\(2\):19-29.](#)
[\(PMID:12127912\) Life Sci. 2002;71\(13\):1579-89.](#)